

市民の皆様へ

2030年の稲城に向けたご提案を受け付けています！

稲城市では2030年の稲城に向けて、長期総合計画を策定します。
あなたの考える2030年の稲城の将来像について、お聞かせください。

グループ・団体別懇談会を開催します

希望するグループや団体との懇談の席を設け、市職員がお話を伺いますので、是非お申込みください。

対象 市内在住・在勤・在学の5人以上のグループ・団体

必要事項 ①希望日時 ②開催会場
③代表者住所・氏名 ④電話番号

申込先 市役所5階 企画政策課窓口
電話 042-378-2111、FAX 042-377-4781
メール chou_kei5@city.inagi.lg.jp

ホームページからのご提案はこちら

https://www.city.inagi.tokyo.jp/cgi-bin/form_enq/formmail.cgi?d=chouki

個別の返答はいたしませんので、
あらかじめ
ご了承ください。



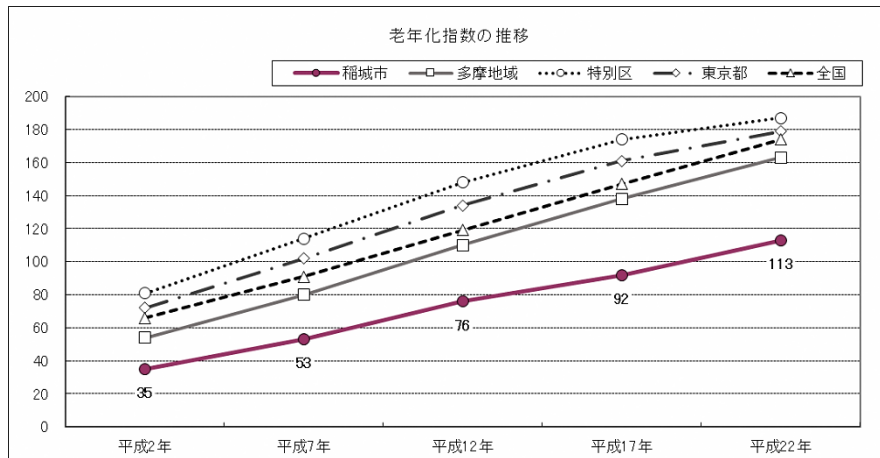
稲城市ちょっとメモ

老年化指数の推移は？

老年化指数をみると、国全体、東京都、特別区、多摩地域のどの地域も上昇を続けていますが、稲城市が最も緩やかで、かつ低い値となっています。

老年人口割合も、年々増加していますが、同様に最も低くなっています。

(『多摩地域データブックH29年度』)



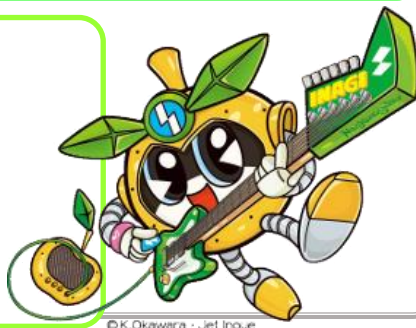
市民会議最終回の開催予定

第14回 令和元年6月28日(金) ・市長に提言します。
時間：19:00から
会場：地域振興プラザ4階 大会議室



2030年の稲城を描く

発行 稲城市
編集 企画部 企画政策課 長期総合計画担当
〒206-8601 稲城市東長沼 2111
☎042-378-2111(代表) 内線 532
e-mail chou_kei5@city.inagi.lg.jp



2030年の稲城を描く

No.13

市民会議 6月14日開催

第13回 市民会議を開催しました

6月14日、地域振興プラザにおいて「2030年の稲城を描く市民会議」第13回を開催しました。5月1日から5月17日までに実施した市民意見公募の結果について、第12回の市民会議で検討した回答の修正を話し合い、市民会議としての回答を確定しました。また、確定した市民意見公募への回答に基づき、市民会議提言書を最終確定しました。

2030年の稲城を描く市民会議



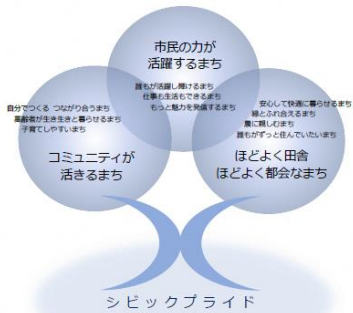
- ①市民意見公募に対する回答の確定
- ②市民会議提言書の確定
- ③市民会議最終回(第14回)に向けた打合せ

市民会議提言書がまとまりました！

※詳細は市のホームページをご覧ください。

わたしたちが描くまちの姿

2030年の稲城 10のまちを通して描く3つのまちの姿



2030年の稲城 1 市民の力が活躍するまち

長好な住環境に魅力を感じ、稲城市では、今日でも市民が増えています。こうした中で、シビックプライド（自分たちで地域を良くしていくという市民の誇り）の精神で市民が活躍し、まちを良くしていくことが求められています。

2030年の稲城 2 コミュニティが活躍するまち

稲城市には、互いにつながり合い、助け合う人々が多いです。そうした人々がつながり合うことで、地域が活性化し、まちが良くなっていきます。

2030年の稲城 3 市民が活躍するまち

稲城市は、実生活に即した課題や悩みを解決し、暮らしやすさを高めることを目指しています。市民一人ひとりが活躍し、まちを良くしていくことが求められています。

2030年の稲城の姿 ① 誰もが活躍し輝けるまち

稲城市には、まちを良くしていくという思いを持ち、まちづくりに参加したいと考えている市民が多くいます。「活動したいけど、どうしたらいいかわからない」といった声も聞かれます。

2030年の稲城の姿 ② 誰もが活躍し輝けるまち

活躍し、輝ける仕組み（人材発掘と人材育成）のあるまち。多くの市民が活躍し、つながり、活躍していきることが求められています。

2030年の稲城の姿 ③ 誰もが活躍し輝けるまち

活躍し、輝ける場のあるまち。活躍し、輝ける場（活動の場）を整えることが求められています。

2030年の稲城の姿 ④ 仕事も生活もできるまち

稲城市には、若い世代も多く居住しており、高い能力を持ちながらも、子育てやその後の生活によりその能力を十分に発揮できない状況が懸念されています。

2030年の稲城の姿 ⑤ 子育てしやすいまち

稲城市の子供は近所の人のあひまわり、地域のイベント等を通して地域とのつながりを感じています。また、子育て世代は、稲城市は子育てしやすいと感じています。

2030年の稲城の姿 ⑥ 子育てしやすいまち

稲城市の子供は近所の人のあひまわり、地域のイベント等を通して地域とのつながりを感じています。また、子育て世代は、稲城市は子育てしやすいと感じています。

【表紙】

参加者デザインの表紙案からメンバーが選びました。

【3つのまちの姿】

2030年、暮らしていたい3つのまちの姿を描きました。

【3つのまちの内容】

3つのまちの姿について、その内容を示しました。

2030年の稲城の姿 ③ もっと魅力を発信するまち

稲城市の良さを、広く多くの人に知ってもらう。魅力発信は、まちを良くしていくための大切な活動です。

2030年の稲城の姿 ④ 自分でつくる つながり合うまち

稲城市では、住む人が増えているものの、人と人とのつながりが薄くなっています。自分でつくるつながり合うまちを目指します。

2030年の稲城の姿 ⑤ もっと魅力を発信するまち

稲城市の良さを、広く多くの人に知ってもらう。魅力発信は、まちを良くしていくための大切な活動です。

2030年の稲城の姿 ⑥ 自分でつくる つながり合うまち

稲城市では、住む人が増えているものの、人と人とのつながりが薄くなっています。自分でつくるつながり合うまちを目指します。

【2030年の稲城の姿 ④】

- (1) 新たなつながり、コミュニティのまち
(2) 人をつなげるネットワーク・ツールのあるまち
(3) 交流し、入れ替わり、続いていくまち

2030年の稲城の姿 ⑤ 高齢者が生き生きと暮らせるまち

元気な高齢者が生き生きと暮らせるまち。高齢者の生活を支えることが求められています。

2030年の稲城の姿 ⑥ 高齢者が生き生きと暮らせるまち

元気な高齢者が生き生きと暮らせるまち。高齢者の生活を支えることが求められています。

2030年の稲城の姿 ⑦ 安心して快適に暮らせるまち

安心、快適な暮らしを実現するための活動。安全なまちづくりが求められています。

2030年の稲城の姿 ⑧ 安心して快適に暮らせるまち

安心、快適な暮らしを実現するための活動。安全なまちづくりが求められています。

【2030年の稲城の姿 ③】

- (1) 市民自ら積極的に発信するまち
(2) 魅力を発信するまち
(3) 魅力をデザインするまち

【2030年の稲城の姿 ⑧】

- (1) 緑を減らさないまち
(2) 緑を活かすまち
(3) 緑をPR・楽しむまち

2030年の稲城の姿 ⑨ 農に親しむまち

農地は市民の貴重な財産であるだけでなく、農と人とのふれあいの場も重要な役割を担っています。

2030年の稲城の姿 ⑩ 農に親しむまち

農地は市民の貴重な財産であるだけでなく、農と人とのふれあいの場も重要な役割を担っています。

2030年の稲城の姿 ⑨ 安心して快適に暮らせるまち

安心、快適な暮らしを実現するための活動。安全なまちづくりが求められています。

2030年の稲城の姿 ⑩ 安心して快適に暮らせるまち

安心、快適な暮らしを実現するための活動。安全なまちづくりが求められています。

【2030年の稲城の姿 ⑦】

- (1) 安心なまち
(2) 快適なまち
(3) 安心・快適なまちへ向けて助け合うまち

安心して快適に暮らせるまち

【2030年の稲城の姿 ⑥】

- (1) みんなで子育てするまち
(2) 大学や学生との連携

子育てしやすいまち

稲城市の子供は近所の人のあひまわり、地域のイベント等を通して地域とのつながりを感じています。

2030年の稲城の姿 ⑩ 誰もがずっと住んでいたいまち

市民は、「ほどよく都会であつても、ほどよく自然」である稲城市に住みたいと考えています。

2030年の稲城の姿 ⑩ 誰もがずっと住んでいたいまち

市民は、「ほどよく都会であつても、ほどよく自然」である稲城市に住みたいと考えています。

【2030年の稲城の姿 ⑩】

- (1) ふるさととして誇れるまち
(2) 人と人がつながるまち
(3) きれいで快適で安心なまち

誰もがずっと住んでいたいまち